

## 統合新校整備方針案が まとまりました



区学校統合推進課 (☎5722-9301、☎5722-9332)

概要	第七・第九中学校の新校	第八・第十一中学校の新校
位置	7年4月に現在の第七中学校の場所に設置し、現在の第九中学校の場所に新校舎建設後、9年度中をめどに移転	7年4月に現在の第八中学校の場所に設置し、現在の第十一中学校の場所に新校舎建設後、9年度中をめどに移転
通学区域	第七・第九中学校の通学区域	第八・第十一中学校の通学区域
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が多様なひとびとと出会い、協働して新たな価値を創造する学校</li> <li>生徒一人ひとりの豊かな可能性を引き出し、しなやかに生きる力をはぐくむ学校</li> <li>地域とともに育ち、地域に支えられ、地域を支える学校</li> </ul>	人権尊重の精神を基調とし、自律的な学びと共創的な活動を通して、未来を切り拓く力を育てる学校
校名	公募を行い選定(5年12月頃)	
校章・校旗、校歌	生徒・保護者・教職員などで構成する検討組織を設置し検討	
標準服・校則		

第七中学校と第九中学校、第八中学校と第十一中学校の統合による新校の開校に向けて、4年4月に統合新校推進協議会を発足し、新校の基本事項の協議を行ってきました。

区教育委員会は、協議会の協議結果を踏まえ、このたび、第七中学校・第九中学校統合の新校整備方針案、第八中学校・第十一中学校の統合新校整備方針案をまとめました。今後、説明会や意見募集を行い、4年度中に決定していきます。詳細は、区HP(コード②)をご覧ください。

### 説明会を開催します

#### 第七中学校・第九中学校の統合新校整備方針案

時①1月23日(月)②1月26日(木) 19:00~20:30

場①第七中学校(碑文谷1-1-33)②第九中学校(洗足1-29-26)

#### 第八中学校・第十一中学校の統合新校整備方針案

時③1月20日(金)④1月24日(火) 19:00~20:30

場③第八中学校(碑文谷4-19-25)④第十一中学校(緑が丘1-8-1)

※上記のほか、保護者・子どもを対象とした説明会などを開催予定

申専用HP(コード①)、電話、FAX(「統合新校整備方針案説明会」と明記の上、氏名、電話、希望日時①~④のいずれかを記入)で、学校統合推進課(☎5722-9301、☎5722-9332)へ



①

☎方針案(全文)は、総合庁舎本館1階区政情報コーナー・5階学校統合推進課、地区サービス事務所(東部を除く)、住区センター、図書館、社会教育館、めぐろ学校サポートセンターで配布するほか、区HP(コード②)でご覧になれます。

※感染症対策のため、施設での閲覧を休止する場合あり

説明動画も  
ご覧  
になれます



②

### 写真でつづるまちの記憶

## 目黒アーカイブ フォトギャラリー

その3  
昭和初期  
の目黒

区制90周年の節目に、目黒のまちの移り変わりを振り返るシリーズ。3回目は昭和初期の一コマ、目黒区の誕生を紹介します。

区広報課区報係 (☎5722-9486、☎5722-8674)

写真出典 / 「目黒区のおゆみ〜写真でたどる区政の変遷」



写真中央が最初の区役所庁舎(昭和7年撮影)

### 昭和7年、目黒区誕生(中目黒3丁目付近)

東京市は、都制実現による自治権拡大を目指すため、市域拡大を進めていました。昭和7年10月1日に、東京市と隣接していた5郡と82町村を、20区に編成した上で、東京市へ編入。これにより東京府荏原郡目黒町と碑衾(ひびすま)町が合併し、目黒区が誕生しました。合併まで準備期間が短かったため、正覚寺山門横にあった目黒町役場を目黒区役所として区が始動しました。



東京市の各区役所発足に当たり、表札を新調。目黒区もその一つ(昭和7年撮影)

### 昭和11年、区役所新庁舎が竣工(中央町2丁目)



目黒町と碑衾町の役場表札を合わせて作った記念額。中央には「和を以て貴しと為す」とある。



目黒区が誕生して最初に刊行された広報紙(昭和9年6月15日号発行)

最初の区役所は前目黒町役場。それに対して旧碑衾町は、区の中央に区役所を置くよう、東京市に陳情しました。その結果、「貴意に沿うようにしたい」との回答を得たことから、昭和11年に新庁舎が中央町2丁目に完成しました。新庁舎の総工事費は、当時の金額で約27万円でした。